

- ◆ 九州財務局では、熊本地震から半年以上が経過し、緊急的・応急的な復旧から本格的な復興段階へ移行しつつある中、被災者の生活再建や中小企業等の本格的な事業の再建・再生を金融面からサポートし、地域経済の創造的な復興と成長に寄与するため、地域金融に携わる関係者が一堂に会し、「熊本地震からの復旧・復興を支えるための地域金融・経済フォーラム」を開催（第1回：平成28年12月19日、第2回：29年3月14日）。
- ◆ フォーラムには、熊本県をはじめとする地方公共団体や各種経済団体のほか、同県内に本店を置く地域金融機関や都市銀行、日銀、政府系金融機関、(株)R EVIC、信用保証協会等計26機関が参加。

### 1. 成果事例の概要等

#### 【開催に至った経緯】

- 被災地域の復興に向けた動きの中で、被災者の生活再建や中小企業等の本格的な事業の再建・再生は急務であり、その際、各種政策と相まって、金融面における適切かつ十分な支援が重要と判断。
- 引き続き、被災者等に対する強力な金融支援の提供が着実に進められ、地域経済の創造的な復興と成長につなげていくためにも、地域金融に携わる関係者が金融支援の現状や課題等について一層の理解を深め、意見交換を行うことにより、地域への情報発信並びに将来へ向けた安心感の醸成に資することを目的として開催。

#### 【参加者】

- 地方公共団体（熊本県、熊本市、宇土市）、経済団体、金融機関等から26機関・31名（含む当局）が参加（第2回は23機関・30名）。

#### 【概要】

- フォーラムでは、冒頭、有識者による基調講演を実施。



熊本県立大学  
五百旗頭理事長



(株)日本人材機構  
小城社長



参加者による発表の様様

★報道によると、震災の後、金融機関をはじめ地方公共団体、経済団体が一堂に集まったのは初めて。

- 【第1回】 熊本県立大学 五百旗頭 真理事長 「災害と安全保障」
- 【第2回】 (株)日本人材機構 小城 武彦社長 「地方創生：「課題」を「希望」にするために」

- 基調講演に続き、参加者からの報告・発表が行われ、これまでの取組や課題、対応策等について説明がなされ、県内観光の厳しい状況や被災者の住まい再建、中小事業者の事業再建に向けた資金面、人手不足の問題等が報告され、その後、参加者による活発な意見交換が行われた。

### 2. これまでの取組の成果等

#### 【フォーラムにおける主な意見】

- グループ補助金制度は共助を前面に出しながら、自助を促し、公助で補う有効な制度。
- 倒産は低水準で推移しているが、休業業・解散は増加傾向にある。
- 東日本大震災ではグループ補助金で復旧した事業者の約55%が被災前の売上に回復しておらず、販路確保・開拓、人材確保・育成が大きな経営課題。
- 高齢者の住まい再建に関し、自立意欲のある高齢者に対する資金対応をお願いしたい。
- 被災企業は、人手不足や資材高騰による復旧費用の増加に悩んでいる。
- 中小事業者の事業再建について、経営計画の見直しに際して金融機関のノウハウを活かし、コンサルティングに入ってもらいたい。
- 開業支援、創業支援にも力を注ぎ、創造的復興のために新たな成長の芽を発掘し、育成していくことも重要。



熊本県 小野副知事 肥後銀行 甲斐頭取 宇土市 元松市長 当局 平岡理財部長



参加者からは「当局が金融関係者を中心としたチームワークを形成し、熊本地震からの創造的復興に向けて歩んでいこう」といった趣旨のフォーラムをコーディネートしたことを評価する。」との声寄せられました。

九州財務局マスコットキャラクター「にゃんきゅう」

- ★創造的な復旧・復興に向けて、参加者が現状と課題について共有し、地域の関係者が一体となって取り組んでいく雰囲気が醸成され、地域の将来に向けて明るい展望を示すことができた。
- ★地元新聞社、テレビ局も取材するなど、地域の関心の高さが窺えた。

### 3. 今後の課題と九州財務局の対応

#### ＜今後の課題＞

- 中小事業者の事業再建や観光分野の回復等はまだまだこれからであり、被災した高齢者等の住まい再建や企業の設備復旧等に向けて人手不足や資材高騰といった課題も顕在化。
- 中長期的には地域企業の経営力強化のための生産性向上、事業継承等の課題もあり、今後も地域の関係者が一体となった取組が必要。
- また、地震からの復旧・復興をイノベーションに結び付け、真の「創造」的復興を実現する上でも地域金融機関の役割は重要。

#### ＜九州財務局の今後の対応＞

- 同フォーラムについては、第3回目を平成29年5月に開催予定であり、引き続き、震災からの復旧・復興に向けた地域金融の取組を推進していくため、総力を挙げて対応。